



株式会社荏原風力機械
EBARA FAN & BLOWER CO.,LTD.
CORPORATE PROFILE



[私たちの理念]

株式会社荏原風力機械は、 送風機のトップメーカーとしてこれからも 未来への新しい風を創り続けます

荏原風力機械は、1912年にポンプメーカーとして産声を上げた荏原製作所の送風機専門メーカーとして、
これまで数多くの送風機を世界中のプラントに供給してきました。

こうした製品や技術の多くは、普段の暮らしのなかで直接目にすることはありません。

しかしながら、まさに“縁の下の力持ち”として、製鉄所やセメントプラント、ゴミ焼却所などの
社会を支える産業用プラントや、暮らしに身近な建築、空調設備用送風機などで活躍を続けています。

荏原風力機械は、これからも豊かな社会づくりに貢献していきます。

ごあいさつ

荏原風力機械は荏原グループの企業理念「水と空気と環境の分野で、優れた技術と最良のサービスを提供することにより、広く社会に貢献する」をモットーに、送風機の分野で卓越した製品を提供する企業です。

荏原製作所が1921年に送風機製造を手掛け、1967年に当社の前身、関西工機株式会社に送風機事業を全面移管。これを機に当社は荏原工機株式会社として生まれ変わりました。そして2001年には濱田送風機から営業・技術部門を譲り受け、営業から設計・製造と高い信頼性のある製品群を有する企業となり、さらに2016年には株式会社大岩マシナリーから標準送風機製造部門の事業譲渡をうけ、社名を現在の株式会社荏原風力機械に改めました。このように当社は、過去からの多大なる実績と高い信頼のもとに、クライアントの皆様の高い評価を頂いています。

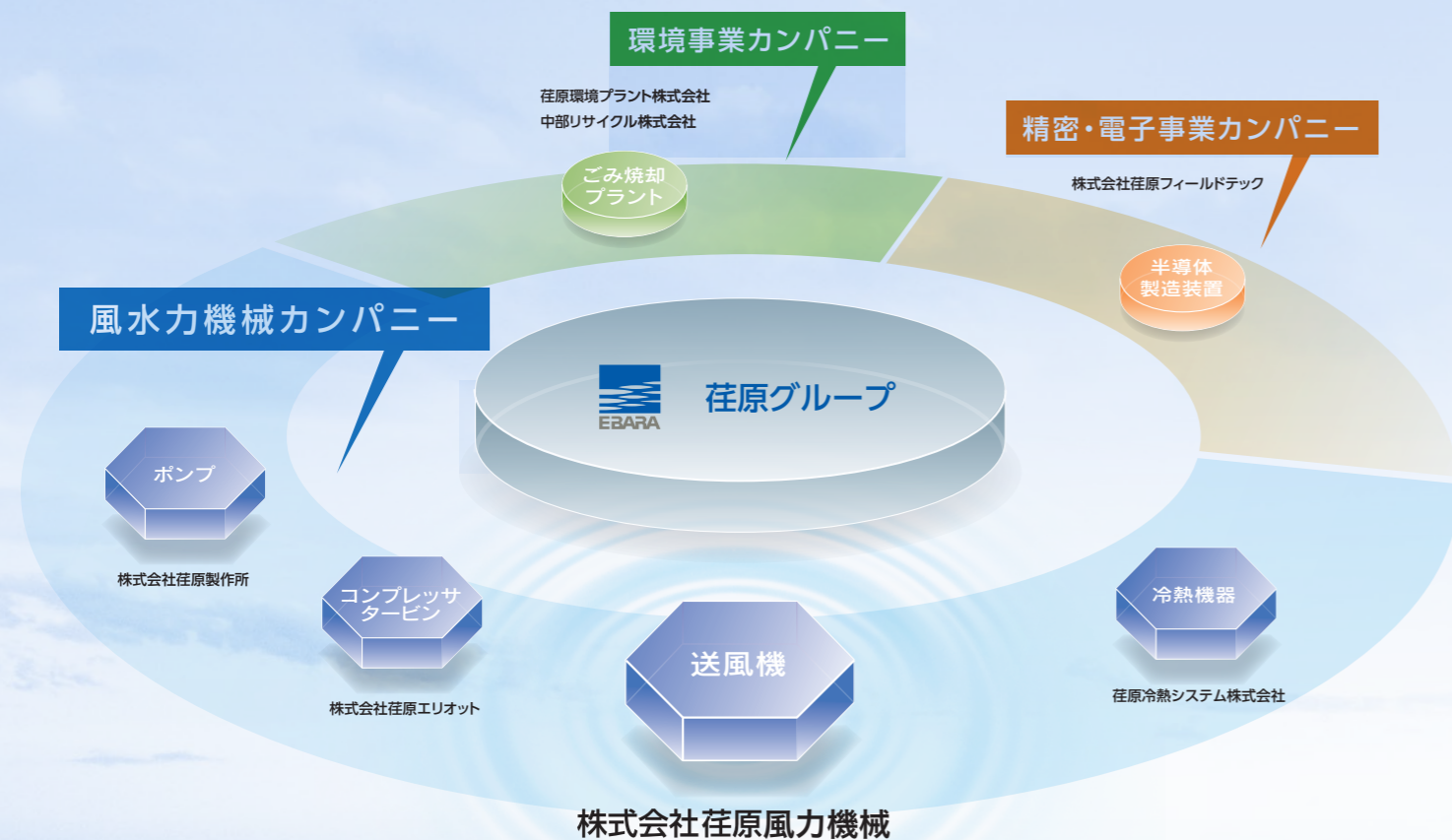
今後も、日本及び世界に広がるお客様に高い信頼性の送風機を迅速に提供し、アフターサービスを充実してお客様に密着したサービスの提供に努めてまいります。常にお客様を第一として、荏原グループの資源を有効に活用し、信頼ある企業として経営に全社を挙げて邁進いたします。



代表取締役社長
宮先 敦

〔荏原グループの総合力〕

100年以上の歴史を誇る 荏原グループの風水力部門 送風機専門メーカーです



〔信頼の技術力〕

お客様満足度を高める 一貫生産体制

荏原風力機械は、設計・開発および製造を一貫して行っている日本最大の一般産業用送風機メーカーです。

製鉄、セメント、電力、製紙、石油化学などあらゆる一般産業用送風機を効率のよい生産システムで生み出し、高信頼性と低価格の製品で、豊かな未来づくりに貢献しています。

また、ゴミ焼却設備用送風機や大型換気用送風機等の環境関連機器の開発にいち早く着手しています。

そして、一般産業用の分野でも送風機自体の高効率化や省エネ改造を通じ、環境負荷の低減をめざしています。

沿革

- 1949年(昭和24) 3月 関西工機株式会社として資本金200万円で四日市市に設立。(主として鉄道車両部品を製造)
- 1962年(昭和37) 7月 事業拡大のため鈴鹿市(現在地)へ本社・工場を新設移転、砂利採取機・破碎・選別機器専門メーカーとして全面稼働を開始。
- 1967年(昭和42) 12月 株式会社荏原製作所と業務提携を行い、資本参加と同時に経営陣を迎え、事業内容の充実と生產品目の拡大をはかる。社名を荏原工機株式会社と改め、荏原製作所の鋼板製送風機的设计・委託生産工場に転換した。従来からの産業建設機械も製造・販売を継続。
- 1984年(昭和59) 7月 荏原製作所鋼板製送風機の移管範囲拡大に伴い、送風機部門を拡大。
- 1995年(平成7) 5月 新組立・試験工場を建設し、製造及び試験能力を強化。
- 2001年(平成13) 7月 濱田送風機株式会社から営業、技術部門を譲り受け、社名を荏原ハマダ送風機株式会社に変更。送風機メーカーとして業界トップシェアを確立する。産業建設機械部門(振動篩、分級機など)を大平洋機工株式会社へ営業譲渡。
- 2002年(平成14) 10月 ISO14001:1996認証取得。
- 2003年(平成15) 10月 ISO9001:2000認証取得。
- 2005年(平成17) 10月 ISO14001:2004更新。
- 2006年(平成18) 9月 資本金4億4,508万円(現在)に増資。
- 2009年(平成21) 6月 ISO9001:2008更新。
- 2016年(平成28) 10月 株式会社大岩マシナリーから標準送風機製造部門の事業譲渡を受け、社名を株式会社荏原風力機械に変更。
- 2017年(平成29) 7月 ISO9001:2015更新。
- 2017年(平成29) 10月 ISO14001:2015更新。
- 2023年(令和5) 8月 三重県SDGs推進パートナーに登録。
- 2023年(令和5) 10月 2023年度ユースエール企業認定。
- 2024年(令和6) 10月 営業窓口を(株)荏原製作所へ変更。
- 2025年(令和7) 3月 次世代育成支援対策推進法(次世代法)に基づき、基準適合一般事業主認定「くるみん」の認定(2回目)を取得。

2012年に創業100周年を迎えた荏原グループは、

「熱と誠」の創業精神を企業活動の基盤に据え、風水力、環境、精密・電子の事業分野で最先端となる製品を生み出し、社会の根幹を支えるインフラに多くの製品を提供するグローバルな産業機械メーカーに成長してきました。

荏原風力機械は、荏原グループの風水力部門の送風機専門メーカーとして、

国内の事業所・事務所をはじめ、全国に展開する荏原グループの支社・支店、関連会社、また海外主要都市の現地駐在員事務所、28の国と地域に広がる関連会社と連携を図りながら、グローバルなビジネス展開を行っています。

これが、世界を舞台にする荏原グループの総合力です。

産業

〔産業を支える製品力〕

様々な設備の安定操業に寄与し、暮らしと社会を支えます

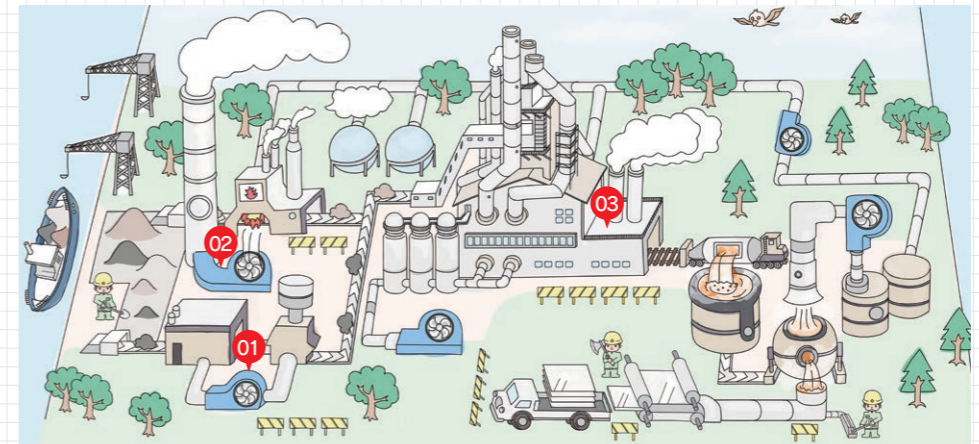
ダクトや煙突のあるところに送風機あり。製鉄所、セメント工場、火力発電所など、社会の基盤を支える大型プラントの安定操業に、荏原風力機械が必要不可欠と言っても決して過言ではありません。

送風機が扱うガスも様々。数百度にも達する高温ガスや人体に有毒なガス、また、磨耗性の高いダストを大量に含むものや腐食性のガスなど、ガスの特性やプラントの操業パターンに応じた最適な送風機を、オーダーメイドで世界中のお客様に提供しています。

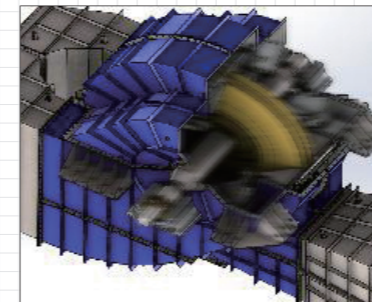
また、プラントだけでなく自然換気の難しいトンネルでは、自動車の排気ガスの強制的な排気や、万一のトンネル内火災発生時の排煙設備として、トンネル向け軸流ファンが全国のトンネルで活躍しています。普段目にする機会は少ないですが、われわれの製品・技術・サービスが社会の礎となる様々な産業や人々の暮らしを支えています。

〔製品紹介-1〕

製鉄所 Iron mill



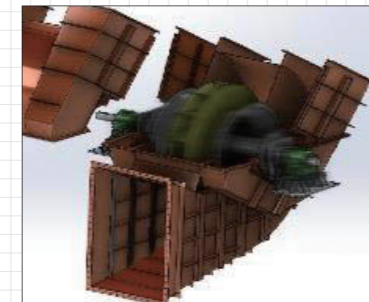
日本の製鉄業界は“産業の米”とも呼ばれ、自動車、鉄道、建築などに欠かせない鋼材を生産する産業として、古くから発展してきました。荏原風力機械は、そんな製鉄業界の隆盛と共に歩みながら、製鉄工程で使用する送風機を設計・製造してきました。製鉄工程で使用される送風機は、過酷な環境で長期にわたって安定運転できる信頼性と効率の高さが求められます。私たちの送風機は、お客様との綿密なコミュニケーションの中から細かなご要望を吸い上げ、長年培ったノウハウと技術力を製品に反映し、先々のメンテナンスまでも見越した製品作りを行っています。また、ご要望を受け入れるだけでなく、用途別に最適な送風機提案ができることも私たちの強みです。



01 焼結設備

主排風機、循環送風機、BUF(ブーストアップファン)、冷却送風機、集塵送風機

焼結炉では、鉄の主原料である鉄鉱石を、石灰や粉コークスと共に焼き固めます。この工程で原料に均一に熱を加えるために、大型の主排風機をはじめとして、BUF、循環送風機などの様々な送風機が使用されています。



02 コークス炉設備

CDQガス循環ブロウ、循環送風機、DAPS設備ブロウ、ガイド車用ファン

コークス炉に付帯するCDQ設備では、赤熱したコークスの熱を回収し、蒸気ボイラーなどで再利用しています。顕熱を媒介する不活性ガスは炉内を循環するため、送風機には気密性が求められます。さらに、炉内で生じる粉塵に耐える丈夫さを併せ持つことが要求されます。



03 高炉設備

集塵送風機、熱風炉用ファン、PCI熱ガスブースターファン、鑄床集塵ブロウ

高炉では鉄鉱石を還元して「銑鉄」を取り出します。高炉の周りでも多くの送風機が活躍しています。

その他の送風機

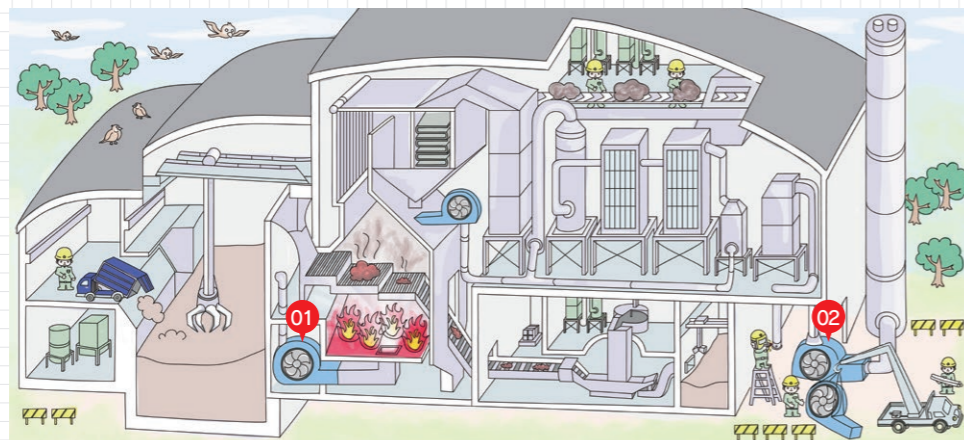
OGガスブロウ、転炉集塵ファン、BFGブースター、COGブースター、LDGブースター、Mガスブースター-CAPL用ファン、蒸気排気ファン、リジェネレーター用ファン、均熱炉用ファン、加熱炉燃焼用ファン、排気用ファン、レール冷却ファン、RTO設備用ファン、電気炉用直引ファン、逆洗ファン、建屋集塵ファン、LFファン

製鉄所内の各設備で発生した副生成ガスは、燃料として再利用できるものが多くあります。ガスブースターは、高炉やコークス炉などの副生成ガスを圧送する際に圧力を補うために使用されます。ガスブースターは気密性だけでなく、扱うガスの成分に応じた耐食性が求められます。

[製品紹介-2]

ゴミ焼却設備

Garbage incineration facility



私たちの暮らしを支えているゴミ処理施設でも、多くの送風機が活躍しています。中でも、ゴミ焼却設備の基幹をなす押込送風機・誘引通風機は、各々の焼却炉の能力に対して最適な風量・風圧で設計・製造を行います。

また、設備更新に伴う省エネ高効率化、搬入経路やレイアウトの問題など、様々な課題を解決できる付加価値の高い送風機を提供できるのも私たちの強みです。



01 押込送風機 (FDF)

一次押込送風機, 二次押込送風機

押込送風機(Forced Draft Fan)は、燃焼用空気を焼却炉内に送り込むために使用されます。そのため比較的高圧の送風機が使用され、場合によっては高圧のプロワが使用されることもあります。

付帯設備の送風機

白煙防止ファン, 循環ファン

ゴミ焼却場では、塵埃や温室効果ガスなどの排出を抑制するための様々な付帯設備があり、小型の送風機が多く使用されています。



02 誘引通風機 (IDF)

誘引通風機

誘引通風機(Induced Draft Fan)は、焼却炉の排気側で使用され、ゴミ処理場の送風機としては最大級になります。

汚泥焼却、産業廃棄物焼却設備向けの送風機

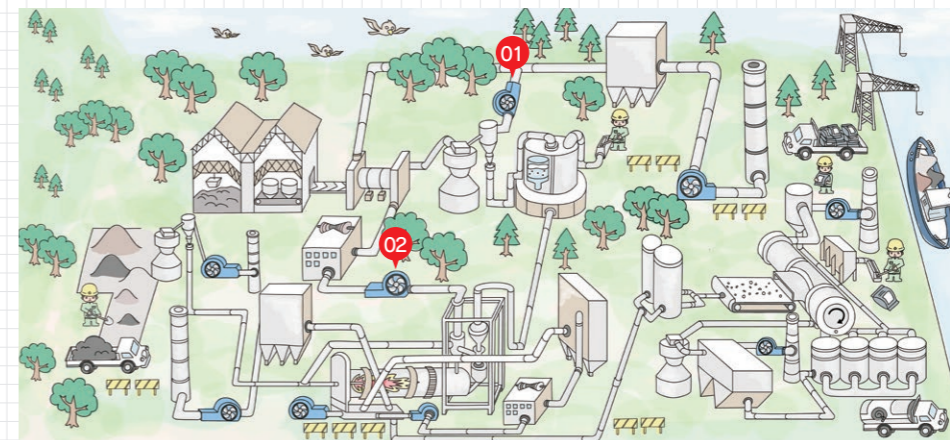
流動プロワ, 誘引プロワ, 曝気プロワ

汚泥焼却のための流動炉では、空気の供給に高い圧力が必要とされるため、多段プロワが多く使用されます。汚泥や腐敗ガスがプロワ本体や周辺環境へ悪影響を及ぼさないよう、構造に工夫を凝らしています。

[製品紹介-3]

セメントプラント

Cement plant



セメントは、構造物の材料として生活にとっても馴染み深いものです。このセメントを作る工場でも荏原風力機械の送風機が多く活躍しています。セメント製造で扱うガスはほぼ全ての工程で粉塵を含むため、送風機は付着による効率低下と、激しい摩耗に晒されます。

荏原風力機械では、多くのセメントメーカーとコミュニケーションを取りながら、羽根形状の見直しや最適な摩耗対策を行い、耐久性と高効率を両立した送風機を提供してきました。

こうして培ってきた実績を元に、多彩な送風機を提案できることが私たちの強みです。



01 原料工程(粉碎設備)

原料ミル排気ファン, 集塵ファン

原料工程では、原料ミルによって珪石、粘土、鉄などの原料を細かく粉碎します。この工程では微粉末を吸引・集塵するための送風機が使用されています。ミル内部の急激な温度変化の熱影響が大きいため、これを考慮した送風機を設計・製造しています。また、ごみや汚泥などの廃棄物などを原料とする場合は、原料の腐食成分に対する耐食性を持たせる場合もあります。

仕上げ工程(粉碎設備)

仕上げミル排気ファン

仕上げ工程ではクリンカが仕上げミルで粉碎され、粉末状のセメントが出来上がります。ここでは、仕上げミルで粉碎された微粉末を吸引捕集するための送風機が使用されています。



02 焼成工程(焼成設備、冷却設備)

SPキルン誘引ファン, キルン排気ファン, AQC押込ファン, AQC排気ファン, AQC循環ファン

粉碎した原料を加熱し、中間製品であるクリンカを作る工程は、プレヒーター・キルンを中心とした焼成設備と冷却設備で構成されます。焼成設備では原料の摩耗や付着の対策を施した送風機、冷却設備では焼成工程の廃熱を再利用するための送風機が使用されます。

集塵ファン

セメント工場向け集塵ファンはダストの付着の他、ガスが含む腐食成分が破損の原因にならないよう、細心の注意を払って設計・製造しています。

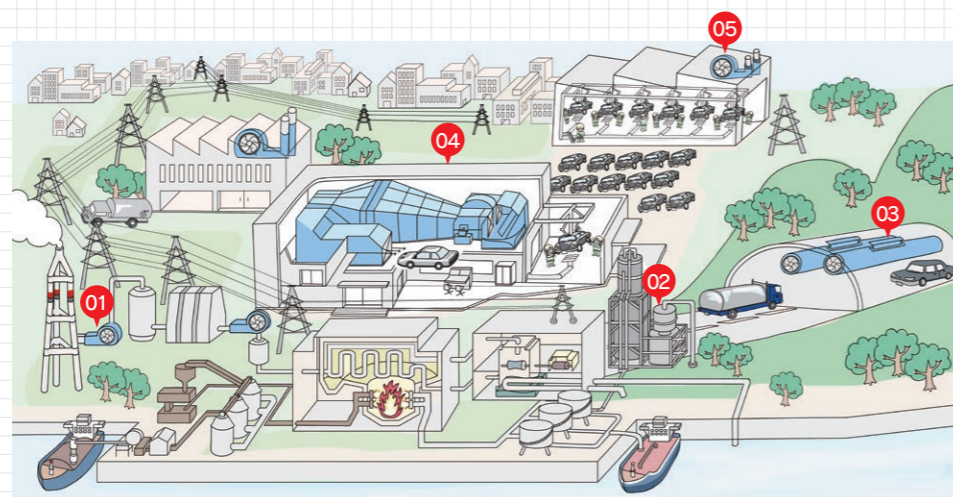
[製品紹介-4]

様々な産業用設備で活躍する送風機

Fans and Blowers functioning in various industries



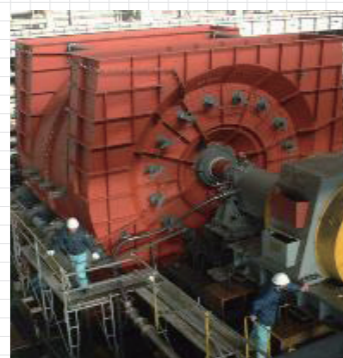
普段はあまり目にすることはありませんが、工場、発電所、トンネル、地下街などでも多くの送風機が活躍しています。荏原風力機械は緑の下の力持ちとして社会基盤を支えているのです。



01 電力業界向け

押込送風機(FDF)、一次空気通風機(PAF)、ガス再循環送風機(GMF,GRF)、誘引通風機(IDF)、BUF(ブーストアップファン)

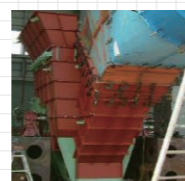
電力業界では、火力発電所のボイラ周辺設備において多くの送風機が使用されています。燃焼用の空気を吹き込む押込送風機をはじめ、高温の排ガスを扱う送風機にはターニング装置や露点腐食対策などのカスタマイズを施した種々の送風機が、日々安定した電力の供給を支えています。



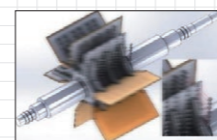
■ ボイラ用誘引通風機(IDF)



■ 一次空気通風機(PAF)



■ 押込送風機(FDF)

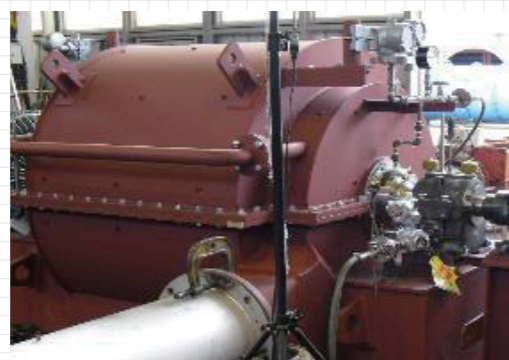


■ ガス再循環送風機(GMF,GRF)

02 石油化学業界向け

エチレン加熱炉用IDF、CCRリジェネブロウ、塩素ガスブロウ、SO2ブロウ、ガスウオッシャー

石油化学業界へは、エチレン加水分解炉用の誘引ファンを中心に、大小様々な製品を設計・製造してきました。腐食性物質を扱う事例も多く、プロセスに応じた最適な材料を選定して設計・製造しています。ニッケル基超合金、チタン等の難加工材での送風機製作もお任せください。



■ 塩素ガスブロウ



■ リジェネブロウ (Regeneration Blower)

03 交通インフラ向け

トンネル換気用 軸流送風機、トンネル換気用ジェットファン

交通事業では、地下鉄や地下街、トンネル換気に多くの送風機が使用され、利用者が安心できるインフラづくりに貢献しています。地下鉄の換気においては低騒音の遠心ファンや省スペースの軸流ファン、トンネル換気では大型の軸流ファンや可変ピッチ軸流ファン、ジェットファンを設計・製造し、消音機や除塵機などの付帯設備も取り扱っています。



■ 軸流送風機



■ ジェットファン

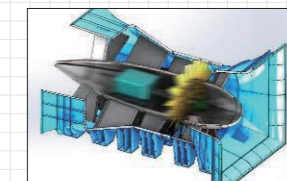
04 風洞設備向け

実車風洞、車速ファン、低温環境風洞、高温環境風洞、横風風洞、高速風洞、耐圧試験装置、多目的実験用、空力風洞、風体験風洞、高速車速ファン、CFRP軸流ファン、高圧軸流送風機

荏原風力機械の風洞設備は、自動車メーカーや研究機関を中心に、様々な業界で使用されています。大型化・高速化・低騒音化はもちろん、計測装置などを最適に選定することで、実際の環境を再現し、技術開発に貢献しています。



■ 軸流送風機

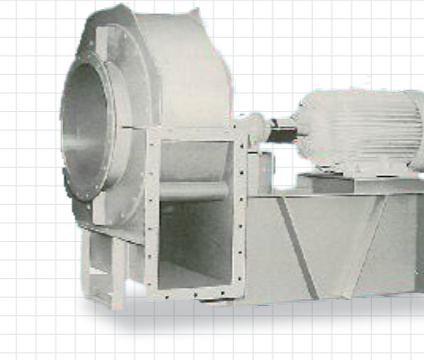


■ 大型軸流送風機

05 軽工業向け

ニュースリーエース送風機、軽工業シリーズ送風機

比較的小風量かつ主に大気を扱うところにも、多くの送風機が使用されています。小型送風機を標準廉価にラインナップ。ベルト掛けやモーター直動に加え、防振、風量調整機構など、豊富なオプションからお選びいただけます。



■ ニュースリーエース送風機



■ 軽工業シリーズ送風機

[製品紹介-5]

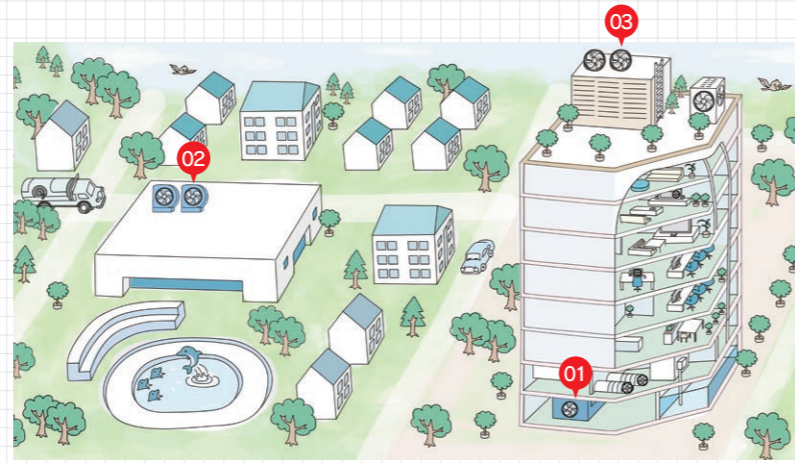
標準送風機

Standard fan



荏原グループでは産業用のみならず、暮らしに身近な建築・空調設備用送風機についてもご提供しています。

一般空調用ファンから、高圧、高温、特殊材質(ステンレス製、樹脂製)ファンや排煙設備に使用される排煙機まで、幅広いラインナップをそろえています。

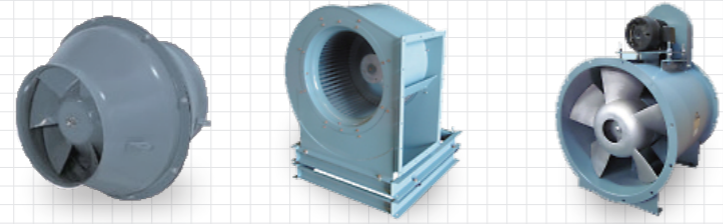


01 空調ファン

ラインファン、軸流ファン、遠心ファン

オフィスビル・病院・ホテルなどあらゆる生活空間の換気(給・排気)用として使用され、快適な室内環境を提供しています。

空調ファンには、多翼ファン、ターボファン、軸流ファン、斜流ファンがあり、設置場所やあらゆる風量、静圧、用途に応じて、多様な製品をラインナップしています。



■ ラインファン ■ 遠心ファン ■ 軸流ファン

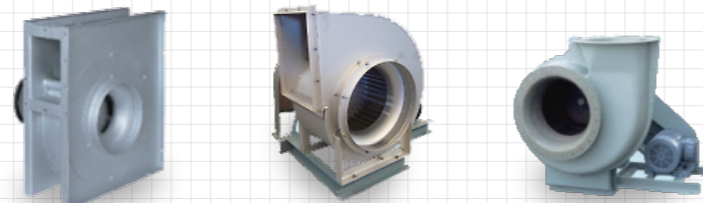
02 多用途ファン

ターボファン、ステンレス製 樹脂製

高温・特殊空気などの排気用として使用され、快適な作業環境を提供しています。

ボイラー・製鉄所など高温空気を取扱う設備の排気、厨房のような取扱う気体の温度が高い用途でも使用されています。

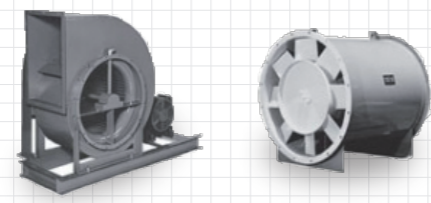
また、薬品・化学・メッキ工場のような特殊空気を取扱う場合においても、ステンレス製・樹脂製の送風機を選定することで対応が可能です。



■ ターボファン ■ ステンレス製 ■ 樹脂製

03 排煙ファン

(財)日本建築センターの厳しい技術審査に合格し、全機種「防災性能評定品」として評価されています。排煙ファンの種類にはターボファン・軸流ファン・多翼ファンがあり、駆動方式はモータ駆動及びエンジン・モータ両駆動があり、お客様の電源事情に合わせた製品をラインナップしています。



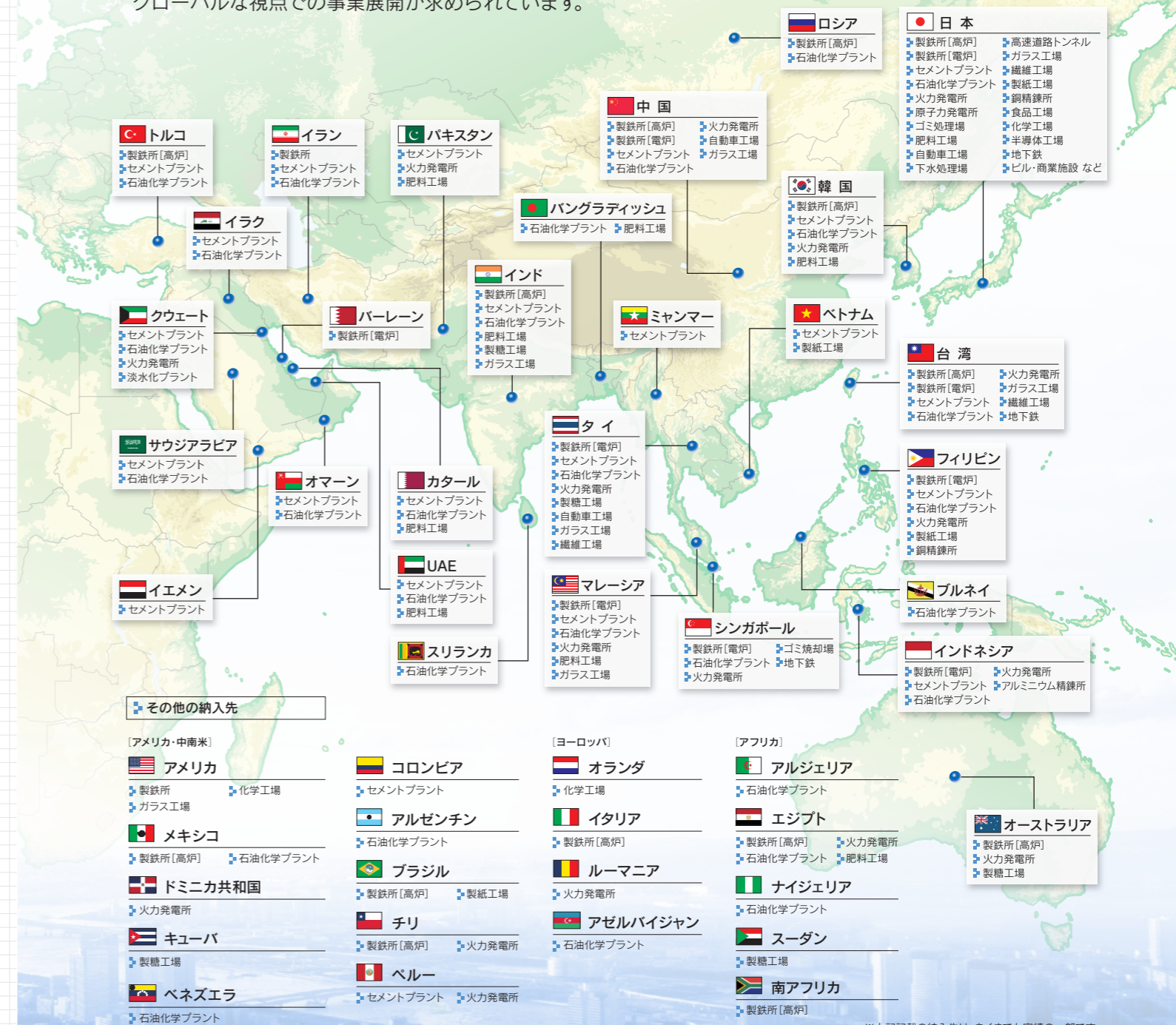
■ 排煙ファン ■ 軸流排煙ファン

[世界への実績]

国内にとどまらず、世界中に製品が納入され、活躍しています

荏原風力機械の製品は、日本全国に納入されているだけでなく、アジアを中心とした世界中のプラントに納入され、各国のインフラ整備や国家の発展に大きく寄与しています。

海外での需要は、今後ともますます拡大することが予想され、新興国における生産拠点や販売拠点の拡充やグローバルな視点での事業展開が求められています。



※上記記載の納入先は、あくまでも実績の一部です。

[未来へのエビローグ]

新たな技術開発を通して、 今後ともより一層社会に 貢献し、明日を拓きます

荏原グループ企業理念である、「水と空気と環境の分野で、
優れた技術と最良のサービスを提供することにより、広く社会に貢献する」を基本として、
地球環境保全が最重要課題であることを認識し、
事業活動及び製品による環境負荷を低減し「持続可能な循環社会」の実現を目指します。
更に、この企業理念を実現するうえで品質マネジメントシステムを確立し、
維持することが不可欠であり、世界的な品質マネジメントであるISO9001と
環境マネジメントISO14001を認証取得しています。

[本社・営業所]

■ 本社・工場



〒513-0014 三重県鈴鹿市高岡町2470
近鉄白子駅から車(タクシー)で約20分
JR/伊勢鉄道 河原田駅から徒歩約30分
TEL 059-383-8700

■ 国見工場



〒969-1771 福島県伊達郡国見町大字山崎字小林後1-1
JR藤田駅から徒歩で約15分
(お越しの際は藤田駅からタクシーが便利です)
東北自動車道国見ICから車で約10分
TEL 024-585-5220
FAX 024-585-5230

■ 東京事務所

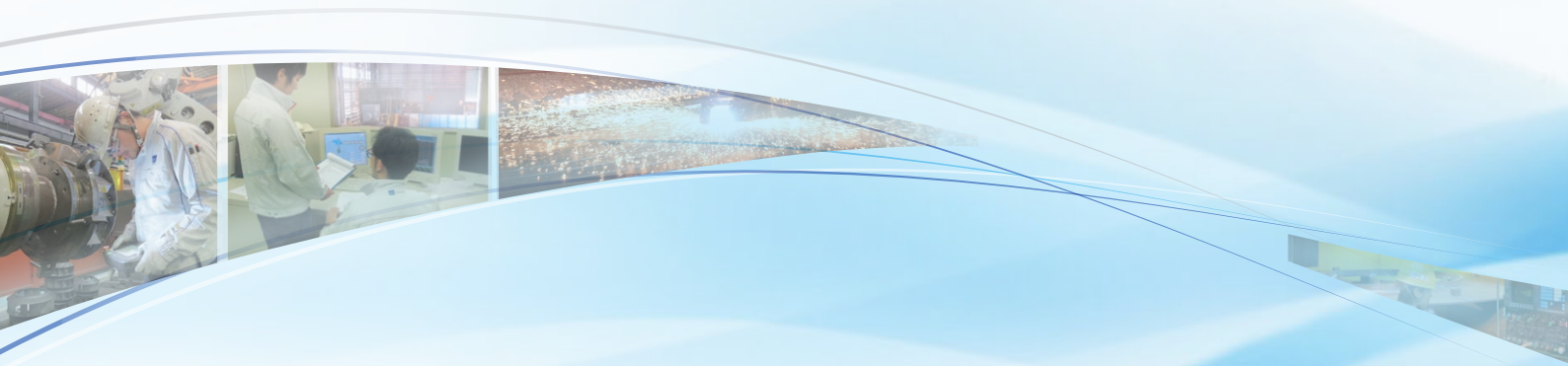


〒144-0042
東京都大田区羽田旭町11-1
TEL 050-3416-3486
FAX 03-5736-3188

■ 大阪事務所



〒532-0003
大阪府大阪市淀川区宮原1丁目2番33号
MSEビル7階
TEL 050-3416-8776
FAX 06-6350-6411



このカタログに掲載した製品は「輸出貿易管理令 別表第1の16項に掲載の貨物」に該当しますので、輸出する場合は「用途」「需要者」などの確認が必要となり、場合によっては経済産業大臣の許可が必要となります。(これらの要件確認は輸出者においてご確認ください)また、一部の製品は同管理令 別表第1の1～15項に該当(リスト規制該当品)します。このリスト規制該当品を輸出する場合は経済産業大臣の輸出許可が必要となりますのでご注意ください。なお、詳細は本社・鈴鹿工場にお問合せください。



株式会社荏原風力機械 www.efb.ebara.com

本社・鈴鹿工場
国見工場
東京事務所
大阪事務所

〒513-0014 三重県鈴鹿市高岡町2470番地
〒969-1771 福島県伊達郡国見町大字山崎字小林後1-1
〒144-0042 東京都大田区羽田旭町11-1
〒532-0003 大阪府大阪市淀川区宮原1丁目2番33号 MSEビル7階

TEL.059-383-8700
TEL.024-585-5220
TEL.050-3416-3486
TEL.050-3416-8776